

広江川洪水氾濫危険区域図

位置図



この図は、広江川流域に50年に1回程度起こる豪雨（時間雨量強度61mm/h）により、堤防が決壊した場合の洪水氾濫危険区域図です。ただし、広江川の支川や水路のはん濫、高潮や流木等によるはん濫は考慮していません。

※ この図は、水防法で定められた「浸水想定区域図」とは異なるものです。

広江川洪水氾濫危険区域図説明文

- この図は、広江川の対象区間^{※1}について、広江川の堤防が決壊または堤防から水があふれた場合をシミュレーションし、想定される氾濫危険区域と水深等を示したものです。
- 氾濫危険区域や浸水深は、時間の経過で変化します。この図は、それぞれの場所での浸水深が最大となる状況を表したもので、氾濫危険区域は最大を表しています。
- 想定している降雨は、概ね50年に1回程度^{※2}起こる大雨（時間雨量強度61mm/h）です。
- 想定している洪水流量は、河口部で最大2.5m³/sです。
- シミュレーションは、想定している洪水流量が増加しながら河川を南下し、はん濫危険水位^{※3}に達した時点で堤防を破壊させています。
- 堤防の決壊は、堤防が1時間かけて約70mにわたり無くなると仮定しています。
- シミュレーションにあたっては、河口部潮位として高潮位（平均）を想定しています。
- 浸水の想定は、広江川の支川や水路のはん濫、想定を超える洪水流量の発生や高潮、流木による河道閉塞等がもたらすはん濫等を考慮していません。このため、氾濫危険区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
- シミュレーションは、氾濫区域を50mメッシュに分割し、平均地盤高を使用して計算しています。このため、局所的な地形の変化による浸水の影響が表されていない場合があります。

- ※1 対象区間は、広江川の石田地先から河口部までです。
- ※2 想定降雨の標準規模は、広江川の規模や背後地の重要度、また西条市における他の重要水防河川との関係も考慮して設定しています。
- ※3 はん濫危険水位は、堤防のある場所では堤防上面から0.6m下がりとし、堤防のない河床部では河床高としています。ただし、貯水池が規定に満たない堤防は、堤防の堤防高を規定の前面が確保できる高さに変更しています。

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域

洪水氾濫危険区域の対象区間

200 100 0 200 1:6,000 m